

保護者各位

岡崎市立六ツ美南部小学校 校長 清水 孝治

令和5年度 六ツ美南部小学校 学校教育診断票の結果

グラフの見方

A: よくあてはまる

B: あてはまる

C: あまりあてはまらない

D: まったくあてはまらない

【児童の結果】 調査対象数：644名 回答数：622名 令和6年1月実施

※「9 総合的な学習」の項目は3・4・5・6年児童を対象、「13 部活動」の項目は4・5年児童を対象とします。

番号	項目	単位 %			
1	学校へ行くことが楽しい。	49	34	12	5
2	六ツ美南子は、あいさつや返事がよくでき、明るい雰囲気がある。	41	41	15	2
3	学校の行事は楽しく、積極的に参加している。	57	30	10	3
4	児童集会や委員会活動には、意欲的に楽しく参加している。	49	36	11	4
5	授業は、分かりやすく楽しい。	47	37	12	5
6	授業では、進んで自分の意見や感想などを発表している。	26	37	29	8
7	授業では、友だちの意見や感想をよく聞くようにしている。	60	32	6	1
8	授業や行事などで、地域の人から学ぶ機会がある。	45	31	17	7
9	総合的な学習の時間では、自分の課題について、体験などを通して学ぶことができる。	47	35	14	5
10	学校は、心や体の健康についてよく考えてくれている。	66	25	7	2
11	道徳の時間などを通して、命の大切さを学ぶことができる。	71	23	5	1
12	読書の時間は楽しい。	57	22	12	9
13	部活動は楽しく、積極的に取り組んでいる。	72	22	3	3
14	学級に問題があれば、みんなで協力して解決できる。	38	41	17	5
15	自分が困ったり、悩んだりしたときに、相談できる友達がいる。	77	16	4	3
16	自分が困ったり、悩んだりしたとき、相談できる先生がいる。	61	25	9	5
17	自分でつやトイレのスリッパの整頓ができる。	52	33	12	3
18	自分で目標をもって取り組んだり、振り返ったりすることをしている。	40	39	17	4
19	家の人が本を読んでくれたり、授業参観に来てくれたりすることが楽しみである。	50	29	14	7
20	ふわふわ言葉を使って話すなど、相手のことを考えて行動している。	42	44	11	2
21	「ノー宿題デー」の日は、自分で考えて時間を使っている。	49	30	12	9
22	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	54	28	11	7
23	自分には、よいところがあると思う。	48	32	12	8

- ・23項目中16項目において、児童の肯定的評価（A+B）が80%を超えました。
- ・「23 自分には、よいところがあると思う」は、調査開始以来初めて肯定的評価が80%に達しました。6月に行った学校保健委員会や、「あるあるレンジャーカード」をもとにした「チーム自分（どんな自分もいてよい存在。まるごとの自己受容。）」という考え方との出会いや取組、教師が子供のがんばりを認めるように努めていることが、結果につながったのではないかと考えます。
- ・「5 授業は、分かりやすく楽しい」の肯定的評価は80%を超え、「7 授業では、友だちの意見や感想をよく聞くようにしている」は90%を超えている一方で、「6 授業では、進んで自分の意見や感想などを発表している」はここ数年来と同様に60%台という低い結果となりました。自分で考える時間・少人数で話し合う時間・学級全体で意見を共有する時間を設定するなど、子供たちが主体的に学ぶための方策を研究してまいりましたが、まだまだ道半ばであることを示す結果です。いっそうの授業改善と心理的安全性のある学級集団づくりを両輪として、「学ぶ楽しさを知り、生き生きと主体的に学び合う子供の育成」に向けて取組み、子供たちの可能性の伸長を目指します。

令和5年度 六ツ美南部小学校 学校教育診断票の結果

グラフの見方

A : よくあてはまる

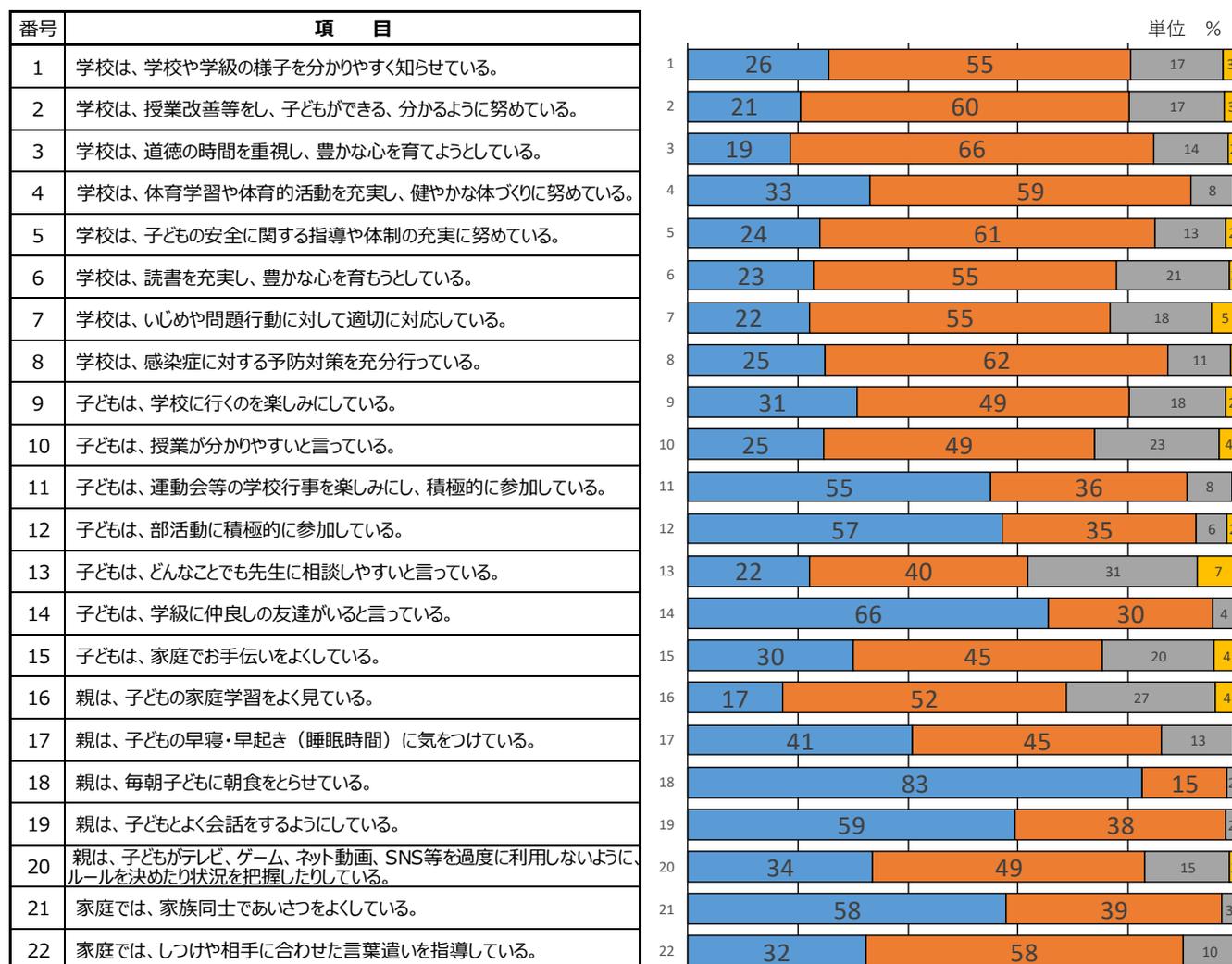
B : あてはまる

C : あまりあてはまらない

D : まったくあてはまらない

【保護者の結果】 調査対象数：644名 回答数：600名 令和6年1月実施

※「12 部活動」の項目は4・5年児童の保護者を対象とします。



・学校教育診断にご協力いただき、ありがとうございました。22項目中16項目の肯定的評価（A+B）が80%を超えました。この結果に満足することなく、努力を続けてまいります。

・「7 学校は、いじめや問題行動に対して適切に対応している」の項目では、昨年度比+10ポイントの77%の肯定的評価をいただきましたが、家庭のご協力がある結果と考えています。今後も、子供の様子をよく見取り、対話や面談の時間を重視します。そして、家庭と連携をとりながら、「いじめを見逃さない」という姿勢をもとに早期発見、早期対応に努めます。また、子供たち一人一人がいじめをしない態度や能力を身に付けられるように、すべての教育活動の中でいじめ等防止の活動に取り組みます。

・「13 子どもは、どんなことでも先生に相談しやすいと言っている」は、肯定的評価が22項目中最も低く62%にとどまりました。一方、児童の結果の「16 自分が困ったり、悩んだりしたとき、相談できる先生がいる」の肯定的評価は85%となっています。保護者の皆様からいただいた結果に真摯に向き合い、子供の声に耳を傾けられる教員集団を目指していきます。

・「20 親は、子どもがテレビ、ゲーム、ネット動画、SNS等を過度に利用しないように、ルールを決めたり状況把握したりしている」の肯定的評価は83%と高い値となりました。その一方で、今年度は本校でも、児童による不適切なSNSの利用についての情報を家庭からいただくことができました。学校では、メディア機器の適切な利用指導を進め、家庭では利用状況の把握に努めていただきながら、健全な利用へとつなげていきたいと考えています。